

長岡市災害ボランティアセンター等訪問

調査日 : 平成 16 年 11 月 8 日 8:45～17:00
班 : 避難マネジメント・経済調査班（渥美）
分類別 : 復旧・復興状況
キーワード別 : 避難所、住宅、生活再建、その他

調査結果

下記の場所を訪問した。総じて、既存の地域ネットワークがうまく動いている感がある。

①長岡市災害ボランティアセンター山古志班 訪問

山古志班ボランティアへのオリエンテーションを見学。過不足なく情報が伝達されているという印象をもった。

②長岡市社会福祉協議会 訪問

長岡市社会福祉協議会では、長岡市民のための仮設住宅が4ヶ所に建設されることについて、対応を相談した。市内各地区のまとまりについて実態を知らないなので、各仮設住宅での活動が起こるように支援することも重要であるとした。

③新産体育館避難所 訪問

役場職員が対応して下さった。下記のことを観察した。

- ・ 150 人
- ・ 一時的に帰宅している
- ・ 係を作って分担
- ・ 三食ともに自衛隊の炊き出し。
- ・ 外には、獣医師会設置のペットテントが。
- ・ 散髪ボランティアが来たとのこと。最初は誰も応じなかったが、一人応じると、列ができた。

④長岡工業高校避難所 訪問

役場市民税課職員が対応。下記のことを観察した。

- ・ 200 名+
- ・ 市職員は、夜3名、昼は2名であったところが1名に。豊栄市からの応援5名。三条市2名、佐世保市2名。泊まり込みで対応。
- ・ 健康センターのアレンジで、鹿児島から医師・看護師
- ・ 三食ともに自衛隊の炊き出し
- ・ 行政の連携が働かない時にボランティアが必要となるかもしれない。
- ・ プライバシー確保のために衝立を入れることも考えられるが、衝立があると余震の時に素早く逃げられないという反対もある。
- ・ 夜は少し寒い。22:30 消灯。
- ・ 前川小学校で、太田小クラスを開設。